

1	事業名称	信州高遠ネイチャーキャンプ初春編				
2	新規・継続	新規	新規			
3	趣 旨	国立信州高遠青少年自然の家において、森・川・星空といった豊かな自然環境と自然観察指導員・望遠鏡・プラネタリウムといった充実した設備・環境を生かし、子供たちに豊かな自然体験を経験させ科学的な好奇心を育ませる。また、他の家族との共同生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	2017年3月4日(土)	～	2017年3月5日(日)	1泊2日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家				
6	募集人数	40人				
7	共催・協力・後援					
8	参加者人数	27人				
9	参加者類型	未就学児1名(男1)小学生10名(男6・女4)中学生1名(男1)大人15名(男8・女7)				
10	参加者地域	長野県21人 東京都6人				
11	参加者分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野県以外からも東京都から6人の参加があった。</li> <li>・「チラシを見て参加した」という参加者が約3割いた。その他にも「人から教えられて」「ダイレクトメールで」「インターネットで」という参加者も各2割いた。今回の募集は、ホームページと星座観察会の過去参加者へのダイレクトメールのみだったので、いずれの方法も効果的だったといえる。</li> </ul>				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		78%	11%	11%	0%	
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何度か主催事業に参加しているが毎回楽しい企画が盛りだくさんでとても楽しんでいる。子供も友達がたくさんできて「また来たい」と言っていた。</li> <li>・ 想像力と創造力をはたらかせて妖精を作ることができた。</li> <li>・ 星空観察やおやつ作りなど、日常ではできない体験をすることができた。</li> <li>・ 星空観察と自然観察の先生や自然の家の職員の方が、親しみやすくいろいろなことを教えてくれたので、ありがたかった。</li> </ul>				
14	成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然素材を使ったクラフト活動や大口径の望遠鏡を使った星空観察、自然観察指導員による動物の痕跡や樹木についての話、そばガレット作りなど普段の家庭生活ではできない非日常の体験を提供することができた。</li> <li>・ 他の参加者との交流もねらいとしていたが、アンケートの記述に「友達を増やすことができた」とあったり、大人同士でも親しく話をしたりしている場面も見受けられたので、今回のキャンプのねらいは達成できたといえる。</li> </ul>				
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40名の募集に対し、応募者は27名と募集人数を下回ってしまった。募集期間が短かったことと募集方法が限られていたためと思われる。今後は、募集期間を長く設定することと募集範囲も広めたい。</li> <li>・ 「宿泊棟で他の家族のお子さんがタブレットで動画を見ていたため、我が子も一緒に動画やゲームに夢中になってしまった。せっかく自然の中に来たのに残念だった。」というアンケート記入があった。事前にタブレット類の持ち込みを遠慮してもらうなどのアナウンスをする必要がある。</li> </ul>				
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 星空観察ばかりでなく、自然の中での活動が1日目も2日目も設定されていたので、自然体験を希望している方のニーズにうまく応えることができた。</li> <li>・ おやつ作りは好評だった。食べるものを作るという活動はやはり参加者にとって満足する活動である。</li> <li>・ 担当職員が2人だけで運営したが、準備や片付けなどでもう少し人手がほしい。ボランティアの募集も行いたい。</li> </ul>				